

日本水素青年部 第三回定期大會開く

女子部獨立す

四日九時より日本水素小名濱工場講堂に於て青年部第三回定期大會が開催された。戦線即時統一企業合理化の適正化、最低賃金制の確立、教育文化活動の強化、封建的女性の観念の刷新、封鎖に就て討議活潑な意見を交換、特に女子部は従業青年部と行動を共にし寄生虫的存在と化することを潔くし、和平(ス)さんが突然脳溢血を發して死亡のさい同業の平市露浪江町では恵比壽講堂中有志者主催のもとに例年通り十二月二日恵比壽神社境内に於て相撲大會を開催した。景品は町内商店の志により山とつまれ盛大に行なわれた。

藤太一郎さん

去る十一月旅入露浪江町増田存在と化することを潔くし、和平(ス)さんが突然脳溢血を發して死亡のさい同業の平市露浪江町では恵比壽講堂中有志者主催のもとに例年通り十二月二日恵比壽神社境内に於て相撲大會を開催した。景品は町内商店の志により山とつまれ盛大に行なわれた。

私達女子部は組合結成以來、青年部と共に只管組合運動に専念して参りました。外はほうほうなる世上の民主運動と内は沸々たる獨立不羈が満ちて参りました。以上私達は青年部と共に活動することは單なる寄生虫的存在と化することを潔くし、和平(ス)さんに決然立つて女子部の毎晩「火の用心火の元は大獨立を叫ぶものでありませうか」と拍手を鳴らす、女子部前進の浮沈はらしながらふれ廻つて居る、女子部前進の組合運動可愛い児童の防火協力は眞に對する熱情と女性特有に涙ぐましいものがある。の良職に基一するもので底冷のする今日此の頃寒さ

良い子の 防火協力

江名町第一
小學校児童

浪江町青年補導會では十日市で街道がよごれて居るのを見て寒さにもかまはらず五年生六年生、中學生一二〇名が役員となつて毎朝六時より七時まで町内の美化作業に努力して居る、町民は浪江十日市後として特に感謝して居る。

浪江小年補導會 町の清掃に當る

浪江町青年補導會では十日市で街道がよごれて居るのを見て寒さにもかまはらず五年生六年生、中學生一二〇名が役員となつて毎朝六時より七時まで町内の美化作業に努力して居る、町民は浪江十日市後として特に感謝して居る。

相撲大會開催

浪江町では恵比壽講堂中有志者主催のもとに例年通り十二月二日恵比壽神社境内に於て相撲大會を開催した。景品は町内商店の志により山とつまれ盛大に行なわれた。

平市南町
織田齒科醫院
電話四一六番

福島縣平市白銀町
松村醫院
電話一〇七番

敷島
敷島
敷島

平市大町
永山クリ
ニング店
電話六〇六番

ベアリング
専門の店
一時ヨリ二時半マデ
其の他各種ベアリング
在庫豊富
平市南町六七番
平興業社

キモノ洋服
親切高價買入
平市南町白銀通り
福屋

式一花造 具祭葬佛神
博盛堂
松幸本松
一路小穂才市平
(呼)五三五話電
目品業營
炭棒、トイラーコ
品工薬種各
所業工料燃平
松秀邊野山
地番二町月正市平
番九一九話電

謹啓初冬の折柄御高堂愈々御清榮奉賀候
陳者長男宇之吉儀昭和十九年十二月レイ
テ島の戦闘に於て戦死せる旨通牒ありた
る處昭和二十二年十二月四日遺骨到着致
し候に付茲に生前の御厚誼を深謝し此の
段御通知申上候
敬白
告別式 十二月十日午後一時
場所 福島縣石城郡四倉町字志津
喪主 鈴木 龍五郎
施主 折石 三郎
親戚總代 井 三郎
同 渡 邊 留
葬儀委員長 治 吉

具房文ト品用務事
元買發簿帳印助福
尾張屋商店
目丁五市平縣島福
番七四九話電
機械完備
染物の御用は
技術本位の
京屋染工場
平市南町大通り
電話六九四番
平市四丁目
關内藥局
電話四〇番